

令和6年度 瀬戸内海の環境保全・創造研究ワークショップ 開催報告

特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議

瀬戸内海研究会議では、産・官・学・民による瀬戸内海に関する学際的な研究や事例発表を行い、会員相互、一般市民との意見交換の場とするため、ワークショップを開催しています。令和6年度は、下記のとおり開催しました。

1 開催概要

- 日 時：令和6年12月13日（金） 12:30～17:00
- 会 場：三ノ宮研修センター（神戸市中央区八幡通4丁目2-12 FRⅡビル）
- 出席者：184名（会場参加23名、Web参加161名）
- 開催方式：Web参加が可能なハイブリッド方式
- 主 催：特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議
- 後 援：公益社団法人瀬戸内海環境保全協会、瀬戸内海環境保全知事・市長会議、ひょうご環境保全連絡会

2 講演

- 第1部 令和4～6年度「瀬戸内海の環境保全・創造に係る研究助成」報告
 - ① 瀬戸内海における栄養塩濃度の時空間変動に伴う低次生態系応答に関する研究
吉江 直樹（愛媛大学 先端研究院先端研究高度支援室 リサーチ・アドミニストレーター）
 - ② 海洋プラスチック汚染の防止に向けた陸域におけるプラスチックごみの散乱状況の把握と流出防止策の研究
原田 禎夫（同志社大学 経済学部 准教授）
 - ③ 播磨灘南部を対象とした海洋プラスチックごみの起源と分布に関する研究
石塚 正秀（香川大学 創造工学部 教授）
- 第2部 「特定海域の栄養塩類管理に向けた評価手法開発」（環境省環境研究総合推進費）
 - ① 下水処理場の季節別運転が海域水質に及ぼす影響評価
西嶋 渉（広島大学 環境安全センター 教授）
 - ② エンドメンバー分析による海域の水質への下水処理場放流水の寄与の評価
中井 智司（広島大学 大学院先進理工系科学研究科 教授）
 - ③ 広湾の季節別運転が植物プランクトンに及ぼす影響と効果
越川 海（国立環境研究所 地域環境保全領域 海域環境研究室 室長）
 - ④ 瀬戸内海・広湾の栄養塩類管理を対象とした影響評価モデルの開発と数値実験
東 博紀（国立環境研究所 地域環境保全領域 海域環境研究室 上級主幹研究員）